

ほけんだより 3月



2023/3/1 厚生館保育園

3月5日は暦の上での「啓蟄」春の訪れをまって、冬ごもりをしていた動物たちが一斉に土の外にはい出てくるといわれています。まだ、寒い日もありますが、春はそこまできています。

今年度はコロナではじまりコロナで終わるといいう異例の年です

コロナウイルスが流行して、早3年が過ぎようとしています。マスク着用が当たり前の状況から、3月13日でマスクの着用は個人に委ねられることになりました。保育園の職員としては「リスクを考えるならマスクの着用を求めることは許容される。」と、厚労省からの通達がありました。

が、大人がマスクをしていることが、子ども達の発達にどう影響するのかはまだ解明はされていませんが、「表情が読めない、口元が見えないので、咀嚼や言葉の発達が遅れる…?」のではないかとされています。

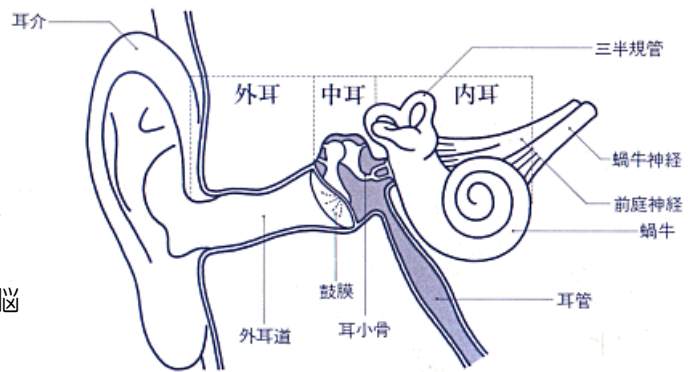
今年度入園してきた乳児さんから幼児さんまで、保育園の職員の顔を直に見たことがほぼないのですから…園としては、マスクの着用については体調により外していく方向で検討中です。

・・・3月3日は「耳の日」です・・・

話声、自然の音、危険が分かるのも
耳の働きがあるからです。

耳の聞こえ方

- ・耳介で音を集め、その音は外耳の道を通って、鼓膜を震えさせて、耳小骨に伝わり、蝸牛（かたつむり官）に伝わり、神経を通り脳で音を聞き分けます。



耳には、もう一つの大事な働き

- ・三半規管というところで、体のバランスを取っています。自転車に乗れるのも、片足で立てるのも三半規管がバランスを取ってくれます。
ブランコを漕いで気持ちが悪くなる、車に乗って気持ちが悪くなるのは三半規管がいたずらをしているからです。

耳は大事なところなので、耳の近くで大声を上げる、耳をたたいたりすると、鼓膜が破れてしまう危険があるのでやめましょう。鼓膜が破れると耳が聞こえなくなってしまうので。

※図を見るとわかるように、鼓膜の内側が中耳です。耳は目、鼻、口と細い管でつながっているため、鼻汁がずっと出ていて治らないと中耳炎を発生、鼻汁が喉に流れて行くと咳が酷くなり、鼻汁が目に入ると目やになります。鼻汁が中々治らない時は、耳鼻科に受診をすることをお勧めします。



3月の保健行事

6日（月）身体測定（2～5才児）

9日（木）身体測定（0,1才児）

10日（金）地域ベビーマッサージ・育児相談

13日（月）0才児健診

17日（金）地域ベビーマッサージ・育児相談

24日（金）地域ベビーマッサージ・育児相談

かぜからくる 急性中耳炎に注意

かぜをひいた後、気をつけたいのが「急性中耳炎」。鼻水が耳管（鼻と耳をつなぐ管）を通過して耳に流れ込み、炎症を起こします。子どもは耳管が短くて太いため、急性中耳炎になりやすいのです。

高熱

激しい
耳の痛み

一時的な難聴、
閉そく感

予防

- 鼻水はこまめにとる
- はなは強くかまない。片方ずつ、やさしくかむ

繰り返しやすい、しんじゅえん滲出性中耳炎に移行しやすいので、きちんと治すことが大切

※はと組さん、小学校生活楽しんでくださいね♡♡♡

ご家族の方、保育園の送り迎えお疲れさまでした🍀